



神奈川県立 相原高等学校敷地整備実施設計 (実施設計・開発協議)

- ・設計 平成28年度
- ・施工監理 平成29・30・31年度
- ・竣工 平成31年3月
- ・面積:約11.8ha
- ・住所:神奈川県相模原市
- ・事業主:神奈川県教育委員会

・業務の概要

J R 橋本駅前に立地していた旧相原高校はJR東海が進めているリニア中央新幹線の新駅計画地と決定し、相原高校を旧職業能力開発総合大学校跡地に移転することとなった。

そこで本委託では移転先である旧職業能力開発総合大学校跡地の一部11.8haに新校舎を新設するための敷地実施設計(建築設計を除く)及び開発行為等の許可申請を行った。2年間の整備工事で農業科、商業科の高校である相原高校を新設して、専門の実習、研究に対応した施設となるよう学校や関係機関との協議を行いながら設計を行い平成31年3月に完成、開校した。



環境実習地

既存と計画の地盤高を合わせることで現況樹木を保全した。現況樹木と建築との対比が景観のポイントとなる。造園技能の実習地として利用する。



校舎棟ゾーン(中庭)



飼料圃場

飼料作物を生産して飼料の一部として使用する。左側の保全した斜面林が背景となる。



演習林-1(見本林等)

造園の教科書に基づき樹種判定を行う実習林と黒松を仕立てるための実習地。



演習林-2(剪定の実習地等)

街路樹剪定と低木刈込の実習地。